

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	札幌市立北都小学校 第3学年59名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	札幌オリンピックミュージアムを訪問し展示品の見学や体験コーナーの利用を通して、オリンピック・パラリンピックへの関心をもち、国際理解を図る。
5 取組内容	<p>○指導計画【7時間扱い】</p> <p>*前段階に、総合的な学習の時間「世界の友達」（20コマ）を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に札幌オリンピックの歴史や冬季オリンピック種目などについて学習する。（総合的な学習の時間 1/6） ・札幌オリンピックミュージアムを訪問し、展示品や体験コーナーを利用する。（総合的な学習の時間 4/6） ・オリンピックミュージックで学んだことをまとめるとともに、他の国の人となかよくなるために大切なことを考え交流する。（総合的な学習の時間 6/6、道徳「国際理解、国際親善」 1/1） <p>○取組の様子</p> <p>事前学習では、オリンピック・パラリンピック教育副教材と副教材に準拠して作成したスライド教材を使用して、札幌オリンピックの歴史やオリンピック種目について学習し、施設見学に向けての基礎知識を得るとともに、関心を高めた。</p> <p>札幌オリンピックミュージアム見学では、まずオリンピックの話として、2010年バンクーバー五輪に女子カーリング競技に出場した近江谷杏奈さんから、競技を始めたきっかけやオリンピックに出場するために一番大切なことなどについて聞くことができた。子どもは、興味深く話を聞</p>



	<p>き、活発に質問をした。</p> <p>次に館内見学では、担当職員に方による案内で、札幌オリンピックの歴史について展示物を見ながら説明を聞いた。事前に学習していたため、子どもは理解することができた。その後、自由に館内のスキージャンプやクロスカントリーなどのシュミレーター体験をすることができ、実生活では経験することの難しい競技の疑似体験をして楽しんだ。</p> <p>なお、後半に実施した展望台見学は荒天の為、リフトに乗ってジャンプ台を上がっていたが視界不良で札幌の街並みを見学することはできなかった。しかし、その後のスキー学習に向けてのリフト乗車の経験を積むことができた。</p> <p>この施設見学で子どもにとって一番の収穫は、近江谷選手が最初の話だけでなく、その後も一緒に活動に参加してくださり、触れ合う時間が充実していたことである。子どもは、オリンピックとの交流を通してオリンピックを身近に感じることでできた貴重な機会となった。</p>	   
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの方との交流を通して、冬季オリンピックへの関心やオリンピックの精神についての理解を深めることができた。 ・札幌オリンピックの歴史についての理解が深まり、将来のオリンピック招致の関心をもつことができた。 	
7 実践において工夫した点	<p>一つ一つの活動がばらばらにならず、ひとまとまりのものとなるよう事前学習、当日の施設見学、その後のスキー学習（サッポロテイネスキー場）への関連付けられるよう指導計画を作成した。</p>	
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学における、展望台見学は当日の天候に応じて、館内施設の見学時間を延ばすなどの柔軟な対応ができるとよい。 ・今回学習した学年の児童にとって、単年度の学びとせず、次年度以降の学習にも関連付けられるよう、校内における引継が大切である。 	
9 今後の取組について	<p>2月中旬に予定されているスキー学習（サッポロテイネスキー場）に行った際には、1972年札幌オリンピックのレガシーである、聖火台などのオリンピック施設にも目を向けさせ、今回のオリンピック・パラリンピック教育の学びを再確認する。</p>	